



マグネ 511

マグネ511は、完全クロムフリー高耐食性コーティングシステムで、亜鉛を主成分とする無機系樹脂のベースコートと、アルミを主成分とした有機系エポキシ樹脂のトップコートからなる2層複合皮膜防錆技術です。

マグネ511は、ベースコートに含まれる亜鉛の犠牲防食作用(鉄よりもイオン化傾向の速い亜鉛が先に陽極化し、鉄が腐食するのを電氣的に食い止める)により鉄素地の腐食を防止します。さらにトップコートのバリア効果により、ベース皮膜の表面や間隙部を覆い、外部からの錆生成因子(水、酸素)の侵入を防ぐことで、亜鉛の白錆発生を食い止めることができます。

マグネ511は、耐食性の要求が厳しい屋外で使用されるファスナー類や鉄製品用に開発され、様々なカラーバリエーションが可能なことなどから、特にナット類などは、多くの自動車メーカーに採用されています。処理加工はディップ/スピン、ディップ/ドレイン、スプレーのいずれの方法も可能です。

性能データ:

塩水噴霧試験
ASTM B117 480 時間

循環腐食耐性
 GM9540P 80 サイクル
 SAEJ2334 30 サイクル
 Volvo VCS 1027,149 tbd

摩擦係数
XIN 946 ±.03 により摩擦係数テストを実施 0.15

典型的なコーティングの膜厚 15-20 ミクロン

仕様:

Ford S441 (WSS-M21P37-A2)
 General Motors GM7111M, GMW14100
 Chrysler PS-7626
 Delphi DX550041
 Hendrickson Truck Suspension 26408-H9
 TRW TS 2-25-60, Class B
 Int'l Truck TMS-4518, Type II
 ASTM F1137-00, Grade II
 Arvin Meritor P92

